

いのちが歡ぶフォーラム2019

「いのち」と向き合う・「えがお」と向き合うフェスタ開催
同じ想いを共有し、同じ時をみんなで楽しみましょう！！



2019.3.5 (火) 13:00~17:00



プログラム

12:30：受付

13:00：オープニング

13:15：「だからこそえがおで」

●介護講談：田辺鶴瑛

人知れず味わった苦しみ、ケアの奥深さ。
そんな経験から生まれた介護講談。

●笑いヨガ：神尾洋一

アハハ笑いで人生が変わる。
作り笑いでもハッピーだ！ 笑って元気！
楽しい笑いヨガ。

●講演・笑い文字：廣江まさみ

自分がかいた笑い文字を渡すだけで、感謝
され、喜ばれ、大切にされる。えがお・感謝
・喜びを渡し合う人の溢れた社会に。

●落語：安楽亭くしゃみ

(東京都立松沢病院 精神科医長 新里和宏)
笑いを日常生活に増やすことを提唱。
自らも落語に通じて、笑いの連鎖を推進。

17:00：終了

料金：2,000円

主催：いのちのフォーラム

出演者プロフィール

●介護講談：田辺鶴瑛

1990年9月田辺一鶴に入門。2005年認知症の義父を在宅
介護、2011年に在宅看取り。2016年介護講談自主上映
作品「田辺鶴瑛の『介護講談』」完成。
数々の映画祭で受賞！介護講談「鶴英の修羅場介護日記」
「ほっとけ心のアップレ介護」

●笑いヨガ：神尾洋一

2010年母が脳出血で倒れる。2010年3月で定年退職し、
実家に単身赴任し。母の介護を4年半続けた。2014年5
月頃より父の体調変化があり、両親ともに要介護となり
施設入居。その後、オレンジカフェやつどい場の活動に
参加。笑いヨガリーダー、ハーブコーディネーターなど
幅広く活動している。

●笑い文字：廣江まさみ

一般社団法人笑い文字普及協会代表理事
笑い文字を書いて渡すことで、感謝と喜びの循環する世
界を作る事を目的に活動しています。

●落語：安楽亭くしゃみ

東京都立松沢病院 精神科医長 新里和宏。
認知症の治療においては、薬の他に、疾患への対応法、
環境調整、社会資源の活用を重視され、笑いを日常生活に
増やすことを提唱。自らも落語に通じて、笑いの連鎖を推
進している。

会場：森下文化センター多目的ホール

東京都江東区森下3-12-17

都営地下鉄新宿線・大江戸線「森下」駅より徒歩8分

都営地下鉄大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」駅より徒歩8分

お申込書

FAX:03-3643-0133

Email:info2019@inochi.or.jp

お名前（ふりがな）
複数名の場合は代表者名

参加人数

名

TEL

MAIL

※お申込書を送信後、人数分の参加費（お一人2,000円）を下記口座にお振込みください。

お振込口座：シャ）クヨウコンシェルジュキョウカイ みずほ銀行 八重洲口支店 普通 2557278

お問合せ：いのちが歡ぶフォーラム2019実行委員会 TEL：03-3643-0164